資料５

令和９年度 事業評価シート【記入例】

1 基礎情報

事業名（親事業名）	総合防災訓練等事業	所属部等	企画部	所属課等	危機管理課	予算科目	会計 01 款 45 項 05 目 25	親事業	350			所属係等	防災・危機管理係	評価者（課長名）	○○　○○

2 計画（Plan）

総合計画体系	政策	S	Safe	安心・安全	施策No.	11	防災・減災	重点プロジェクト	戦略１	住みたいまち	重点テーマ	③	穏やかに暮らせる安心・安全な環境づくり

目的（施策の目指す姿）	防災・減災のためのまちの機能と、地域の取組や家庭での備えが充実しており、市民が安心して暮らしています。	手段（事業概要）	市や自主防災隊など、関係機関が連携し、総合防災訓練を実施するとともに、防災講習会及び地震体験車による震度体験等を実施する。また、防災意識の高揚を図るためのパンフレット等を配布する。	事業の対象（誰を・何を）	市民・職員	意図（どうしたいか）	防災行動の定着

3 現状把握・実施（Do）

（１）事業費の推移

		令和８年度		令和９年度		令和10年度（計画額）		令和11年度（計画額）		令和12年度（計画額）	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
事業費	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他（　）										
	一般財源	1,658	1,658	1,658	1,658	1,658	1,658	1,658	1,658	1,658	1,658
	事業費計	**1,658**	**1,658**	**1,658**	**1,658**	**1,658**	**1,658**	**1,658**	**1,658**	**1,658**	**1,658**
財源	国費・県費の名称										
	補助率										
	終期										

（２）取組内容

	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	総合防災訓練を各地区の自主防災隊と連携して実施する。 ・防災講話を○回実施 ・起震車による震度体験を○回実施				
実績	総合防災訓練を各地区の自主防災隊と連携して実施した。また、○○を対象とした防災講話を22回実施し、参加者にパンフレットを配布したほか、イベントなどで起震車による震度体験を40回実施した。				

4 評価（Check）

（１）指標の推移

	ロジックモデル		指標名	単位	項目	現状値(R7)	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
1	アウトプット【産出】	総合防災訓練を実施する。	総合防災訓練実施回数	回	目標		213	213	213	213	213
					実績	209	209				
					達成率【参考】		98.1%				
					実績の推移		横ばい				
↓					評価		順調				
2	直接アウトカム【短期成果】	市民の防災知識及び意識が向上する。	総合防災訓練の参加者数	人	目標		15,000	15,100	15,200	15,300	15,400
					実績	11,124	11,130				
					達成率【参考】		74.2%				
					実績の推移		増加				
↓					評価		不調				
3	中間アウトカム①【中期成果】	災害に備えた行動や地域での取組が日常的に行われる。	災害に強いまちづくりが進んでいると思う市民の割合	%	目標		46.9	48.0	49.2	50.3	51.4
					実績	45.8	48.0				
					達成率【参考】		102.3%				
					実績の推移		増加				
					評価		順調				
	中間アウトカム②【中期成果】	市民一人一人が災害時に備えた備蓄を実践する。	非常食・飲料水を備えている市民の割合	%	目標		71.8	72.9	75.1	76.2	77.3
					実績	70.7	68.0				
					達成率【参考】		94.7%				
					実績の推移		減少				
					評価		不調				

（２）施策に対する有効性・必要性

	指標	実績の推移	評価	評価の理由
1	アウトプット	横ばい	順調	おおむね予定どおり実施できた。
2	直接アウトカム	増加	**不調**	参加者は微増だが、伸びが悪い。
3	中間アウトカム①	増加	**順調**	
4	中間アウトカム②	減少	**不調**	防災行動につながっていないと考えられる。

施策に対する事業の有効性：**中**

事業の必要性・課題	災害時における市民の適切な避難行動や地域における協力体制の構築に資するものであり、地域防災力の向上に不可欠な事業である。一方で、自主防災隊の訓練は、主に自治会加入者の参加であり、地域全体への行動変容につながっていないことから、実施方法の見直しが必要である。

事業の必要性：**高**

（３）効率性・公平性　　※行が不足する場合、見直し優先度が高い子事業を記載

子事業名	親事業名との関連度	課題	方向性	見直し区分	関連事業	見直しの内容
総合防災訓練実施事業費	低	コストが高い	見直し	コスト削減	□ 有	○○課の○○事業と統合して委託
○○事業	中	公平性が低い	見直し	サービス向上	□ 有	
○○事業	高	業務量が多い	見直し	効率化	□ 有	申請手続きのオンライン化
○○事業	高	なし	継続（見直しなし）		□ 有	

5 改善（Action）

事業の方向性（選択）			
		拡大	現行より規模を拡大して実施する。
		継続	現行の規模で実施する。【見直しなし】
	○	政策的見直し	規模は変えず、事業の内容等を見直して実施する。（予算に影響あり）
		運用見直し	規模は変えず、運用方法等を見直して実施する。（予算に影響なし）
		縮小	現行より規模を縮小して実施する。
		一時休止	事業を一時的に休止する。
		廃止	事業を終了する。

左記の理由 見直しの内容・時期	若い世代の参加を促し、地域全体への行動変容につながるよう、令和９年度中に訓練の実施方法や内容等を見直し、10年度から実施する。
備考	指標・目標値の見直しや位置付ける施策の変更が必要と思われる場合など、特記事項があれば記入

令和９年度 施策評価シート【記入例】

1　基礎情報

施策№	11	施策名	防災・減災	施策担当部	企画部	評価者（部長名）	○○　○○

2　計画（Plan）

目的	政策	S	Safe（安心・安全）	安心・安全で心穏やかに暮らせるまち
	施策の目指す姿	防災・減災のためのまちの機能と、地域の取組や家庭での備えが充実しており、市民が安心して暮らしています。		
手段	取組方針	地震や風水害に備えた防災インフラの整備及び耐震化の普及啓発を進めるとともに、市民が「自分の命は自分で守る」という防災意識を持ち、必要な準備を行うことができるよう、情報の周知や啓発を行います。 また、自主防災組織等への支援や避難所機能強化を通じて、地域防災力の強化を図ります。		

3　現状把握・実施（Do）・評価（Check）

（１）指標等の推移

ロジックモデル			指標名	単位		現状値(R7)	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
3	中間アウトカム① 【中期成果】	災害に備えた行動や地域での取組が日常的に行われる。	災害に強いまちづくりが進んでいると思う市民の割合	%	目標		46.9	48.0	49.2	50.3	51.4
					実績	45.8	48.0				
	中間アウトカム② 【中期成果】	市民一人一人が災害時に備えた備蓄を実践する。	非常食・飲料水を備えている市民の割合	%	目標		71.8	72.9	75.1	76.2	77.3
↓					実績	70.7	68.0				
4	最終アウトカム （客観指標） 【長期成果】	市民が災害時に取るべき行動を把握している。	マイタイムラインを作成している市民の割合	%	目標						33.0
					実績	3.6	5.0				
	最終アウトカム （主観指標） 【長期成果】	災害への備えが充実し、市民が安心して暮らす。	災害への備えが充実しており、安心して暮らせていると思う市民の割合	%	目標						64.3
					実績	49.5	48.0				

（２）施策の評価

客観的評価	指標	R８達成率	実績の推移	評価
	中間アウトカム①	102.3%	増加	順調
	中間アウトカム②	94.7%	減少	不調

＋

部等長所見	
	中間アウトカム指標の推移はおおむね順調であるが、大規模地震発生リスクが高まる中、地域防災力の向上に向けて、取組の加速が必要である。

➡

施策の成果（選択）
順調
おおむね順調
やや遅れ
遅れ

（３）施策の課題

高齢化や自治会加入率の低下で共助機能が弱まり、地域ごとの防災力に差がある。また、訓練参加者の固定化や訓練内容のマンネリ化により、地域全体の行動変容につながっていないため、市民一人一人の防災意識を高めることが重要である。

（４）施策貢献度と事業の方向性

	総合計画事業名	担当課	施策貢献度（優先順位）		有効性【参考】	必要性【参考】	事業の方向性 担当課	事業の方向性 担当部	担当課評価と異なる場合の理由
①	地域防災力強化事業	危機管理課	高	1	中	高	拡大	拡大	
②	避難所機能強化事業	危機管理課	中	3	高	中	縮小	継続（見直しなし）	避難所に求められる役割の多様化により、継続的な強化が必要である。
③	総合防災訓練等事業	危機管理課	高	2	中	高	政策的見直し	政策的見直し	
④	防災行政無線更新整備事業	危機管理課	中	4	中	中	継続（見直しなし）	継続（見直しなし）	
⑤	急傾斜地安全対策事業	危機管理課	低	5	低	中	縮小	縮小	
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									
⑪									
⑫									
⑬									
⑭									
⑮									

4　改善（Action）：施策の成果向上に向けた取組

事業の方向性（選択）	具体的な改善内容（新規事業立案等を含む）
改善すべき点なし	
一部改善が必要である	①③⑤の事業は、事業評価シートの方向性に基づき進める。自治会加入率が年々低下する中、地域防災力の強化に向けて、○○と連携した新たな事業の立案を検討する。
抜本的改善が必要である	

以下、事務局が作成

施策の成果（選択）	事務局総評
順調／おおむね順調／やや遅れ／遅れ	○○については一定の成果が見られる。一方、△△については成果が十分に確認できず、事業手法や対象の見直しを検討する必要がある。優先的見直し候補として①③が考えられる.

5　二次評価（行政評価委員会）　※以下、外部評価までは見直し優先度が高いもののみ実施

見直し優先度	見直しの方向
高	・①③については、若年層や自治会未加入者の参加が少なく、訓練参加者が固定化していることから、ＳＮＳを利用した防災情報の周知など、より幅広い層の行動変容につながる手法を検討する必要がある。 ・④の事業は、市公式LINEによる情報発信等、情報伝達手段の普及により、防災無線の役割が変化していることを踏まえ、一斉更新ではなく、必要性や地域特性を考慮した更新方法へ見直しを検討されたい。

6　二次評価に対する担当部意見

担当部意見
※一次評価と二次評価が大きく異なる（拡大⇔縮小など）場合に、担当部から意見を聴取する。

7　外部評価（総合計画審議会）

二次評価の妥当性	委員意見
妥当／おおむね妥当／要再検討	

8　最終評価（行政評価委員会）

施策の成果（選択）	各事業の今後の方向性
順調／おおむね順調／やや遅れ／遅れ	※二次評価に対する担当部意見・外部評価・見直しワーキングを踏まえた事業の方向性を記載

	総合計画事業名	事業の方向性 二次評価	優先的見直し	担当部評価と異なる場合の理由	事業の方向性 最終評価	事務局欄
①	地域防災力強化事業	拡大	○		拡大	
②	避難所機能強化事業	継続（見直しなし）			継続（見直しなし）	
③	総合防災訓練等事業	政策的見直し	○		政策的見直し	
④	防災行政無線更新整備事業	縮小	○	代替手段を充実させるため、縮小を検討されたい。	縮小	
⑤	急傾斜地安全対策事業	縮小				
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

令和９年度 重点プロジェクト（テーマ）効果検証シート【記入例】

1　基礎情報

戦略	1	住みたいまち	厚木の魅力を伸ばし、住みたい住み続けたいまちをつくる
重点テーマ	②	新たな発見がある魅力的なまちづくり	

2　指標等の推移

（１）最終成果【数値目標】※評価対象外

	ロジックモデル	指標名	単位		現状値(R7)	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
4	厚木市に住みたい・住み続けたいと思う人が増加する。	総人口	人	目標	223,544					
				実績	223,544					
				目標						
				実績						
				目標						
↑				実績						

（2）中間成果【ＫＰＩ】

		関連施策	ロジックモデル	指標名	単位		現状値(R7)	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
3	①	－	市外在住者が厚木市に移住する。	転入者数	人	目標		10,804	10,707	10,610	10,513	10,416
						実績	10,901	10,500				
	②	27　観光	市内の観光客が増加する。	市内の延べ観光客数	件	目標		2,510,000	2,515,000	2,520,000	2,525,000	2,530,000
↑						実績	2,458,965	2,520,000				

テーマを構成する施策の評価

施策名	施策の成果（事務局）	事業の方向性
24　自然・生活環境	順調	改善すべき点なし
25 スポーツ	おおむね順調	一部改善が必要
26 文化芸術	おおむね順調	一部改善が必要
28 魅力発信	やや遅れ	抜本的改善が必要
27 観光	おおむね順調	一部改善が必要

	指標	Ｒ８達成率【参考程度】	実績の推移	評価
3	ＫＰＩ①	97.2%	減少	不調
	ＫＰＩ②	100.4%	増加	順調

（3）直接成果【直接アウトカム】

		関連施策	ロジックモデル	指標名	単位		現状値(R7)	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
2	ア	24　自然・生活環境	自然に囲まれた豊かな住環境が形成される。			目標						
						実績						
	イ	26 文化芸術	文化的に豊かな住環境が形成される。			目標						
						実績						
	ウ	28 魅力発信	本市のさまざまな魅力が広く発信される。			目標						
						実績						
	エ	27 観光	本市の観光への認知度が市内外で高まる。			目標						
↑						実績						

今年度中に設定予定

テーマを構成する事業の評価

	総合計画事業名	施策名	つながりの強い直接アウトカム	施策貢献度	アウトプット指標	直接アウトカム指標	有効性	必要性	事業の方向性評価		
									担当課	担当部	最終評価
①	里地里山保全等促進事業	24　自然・生	ア	高	順調	順調	高	高	拡大	拡大	
②	生物多様性あつぎ戦略推進事業	24　自然・生	ア	中	不調	不調	中	中	縮小	継続（見直しなし）	
③	市民スポーツ推進事業	25 スポーツ	イ	高	高	高	高	高	政策的見直し	政策的見直し	
④	スポーツの聖地づくり推進事業	25 スポーツ	イ	中	中	中	中	中	継続（見直しなし）	縮小	
⑤	スポーツの聖地づくり環境整備推進事業	25 スポーツ	イ	低	中	中	中	中	縮小	縮小	
⑥	あつぎ市民芸術文化祭開催事業	26 文化芸術	イ								
⑦	文化芸術振興事業	26 文化芸術	イ								
⑧	あつぎ郷土博物館活動推進事業	26 文化芸術	イ								
⑨	市史編さん事業	26 文化芸術	ウ								
⑩	魅力発信事業	28 魅力発信	ウ								
⑪	観光プロモーション事業	27 観光	エ								
⑫	観光資源活性化事業	27 観光	ウ								
⑬	広域都市連携推進事業	行財政運営	ウ								
⑭											
⑮											
⑯											

3　事務局評価

・直接成果（ア～エ）と中間成果の推移からの分析や、重点的に進めるべき施策や部門間連携の課題等を記載
・新たに重点プロジェクトに位置付ける事業や、事業の縮小・廃止等により削除する事業を記載

4　二次評価（行政評価委員会）